

8.3 自然との触れ合い活動の場

8.3.1 調査事項

調査事項は、表 8.3-1 に示すとおりである。

表 8.3-1 調査事項

区 分	調査事項
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・排出ガス対策型建設機械（第2次基準値）を使用する計画としている。 ・工事区域周辺には仮囲いを設置する。 ・必要に応じて散水の実施、粉じん飛散防止シートの設置等、粉じんの飛散対策を講じる計画としている。 ・最新の排出ガス対策型建設機械（第3次基準値）の使用に努める。 ・低公害型の工事用車両を極力採用し、不要なアイドリングの防止を徹底する計画である。 ・資材の搬出入に際しては、走行ルートを検討、安全走行等により、騒音及び振動の低減に努める計画である。 ・計画地周辺の公園利用者の活動への影響を抑えるよう、工事工程や建設機械配置について詳細な施工計画を作成する。

8.3.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

8.3.3 調査手法

調査手法は、表 8.3-2 に示すとおりである。

表 8.3-2 調査手法

調査事項	自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度	
調査時点	工事の施行中とした。	
調査期間	ミティゲーション の実施状況	
調査地点		工事中の適宜とした。
調査手法		計画地及びその周辺とした。
		現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。

8.3.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.3-3 に示すとおりである。なお、人と自然との触れ合いの活動の場に関する苦情は、平成 29 年 12 月までになかった。

表 8.3-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
・排出ガス対策型建設機械（第2次基準値）を使用する計画としている。	建設機械の選定にあたっては、極力排出ガス対策型建設機械（第2次基準値）を使用している。（写真 8.3-1）
・工事区域周辺には仮囲いを設置する。	工事区域周辺には仮囲い（3.0m 鋼板パネル）を設置した。また、北側及び一部の東側・西側仮囲いの上部にメッシュシート（1.8m、開口率 20%）を設置した。（写真 8.3-2）
・必要に応じて散水の実施、粉じん飛散防止シートの設置等、粉じんの飛散対策を講じる計画としている。	粉じんの飛散対策として、散水、防砂ネットの設置、作業路盤への鉄板設置、定期的な鉄板上の清掃を実施している。（写真 8.3-3、写真 8.3-4、写真 8.3-5）
・最新の排出ガス対策型建設機械（第3次基準値）の使用に努める。	可能な限り最新の排出ガス対策型建設機械（第3次基準値）を使用するよう努めている。（写真 8.3-6）
・低公害型の工事用車両を極力採用し、不要なアイドリングの防止を徹底する計画である。	可能な限り低公害型の工事車両を採用するよう努めている。また、工事用車両の燃料については、良質な軽油・ガソリンの使用に努めた。朝礼や現場巡視時にはアイドリングストップの厳守等、運転者へ指導を行うとともに、アイドリングストップ厳守に関わる掲示を行い、関係者への周知・徹底を図っている。（写真 8.3-7）
・資材の搬出入に際しては、走行ルートの検討、安全走行等により、騒音及び振動の低減に努める計画である。	施工業者に対しては、あらかじめ設定した走行ルートと関連法令の順守について施工前に指導・教育を行った。また日々の作業間調整会議時に搬出入車両台数及び時間帯を確認・調整を行うことで車両の集中を避け、騒音・振動の低減に努めている。（写真 8.3-8）
・計画地周辺の公園利用者の活動への影響を抑えるよう、工事工程や建設機械配置について詳細な施工計画を作成する。	公園利用者の活動への影響を抑えるため、建設機械の稼働位置や工事用車両動線の配置を検討している。



写真 8.3-1 排出ガス対策型建設機械(第2次基準値)



写真 8.3-2 仮囲い及びメッシュシート



写真 8.3-3 散水車による散水



写真 8.3-4 防砂ネット



写真 8.3-5 鉄板清掃



写真 8.3-6 排出ガス対策型建設機械(第3次基準値)



写真 8.3-7 アイドリングストップの掲示



写真 8.3-8 作業間連絡調整会議の様子